

問1 認知症患者への対応で、医師・看護師以外の専門職の関わりはありますか。いずれか一つに○。

- 1 ある →副問へ 2 ない

副問 (1と答えた方のみ)それはどのような職種の方ですか。複数回答可。

- 1 精神保健福祉士 5 理学療法士
2 作業療法士 6 言語聴覚士
3 臨床心理士 7 その他()
4 社会福祉士

問2 下記を原因疾患とする認知症のうち、貴医療機関で診断・治療が可能なものはどれですか。複数回答可。

- 1 アルツハイマー型認知症 4 前頭側頭型認知症(ピック病含む)
2 血管性認知症 5 その他()
3 レビー小体型認知症

問3 若年性認知症(65歳未満で発症する認知症)の診断・治療は可能ですか。いずれか一つに○。

- 1 可能である 2 対応できない 3 その他()

問4 貴医療機関では通常どのような検査方法を行っていますか。他の医療機関に検査を依頼する場合も含め、お答え下さい。複数回答可。

- 1 CT 4 PET
2 MRI 5 認知機能検査(MMSE、HDS-R等)
3 SPECT 6 その他()

問5 認知症患者の治療はどのようにしていますか。いずれか一つに○。

- 1 外来のみ
2 自院で入院も可能
3 その他()

問6 認知症の治療を主な目的とした訪問診療を行っていますか。いずれか一つに○。

- 1 行っている 2 行っていない

問7 認知症の診断を認知症患者本人や家族に告知していますか。複数回答可。

- 1 本人、家族ともに、公平に告知している
- 2 まず、家族に告知し、家族の意向や時期をみて本人にも告知する
- 3 家族のみに告知する
- 4 本人のみに告知する
- 5 本人に告知し、本人の意向次第で家族にも告知する
- 6 どちらにも告知しない
- 7 その他()

問8 診断の結果、介護保険サービス等につなぐ必要があると判断されたとき、どのように対応していますか。複数回答可。

- | | |
|--|--------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 併設している施設・機関を活用している2 連携している施設・機関を活用している3 近隣の居宅介護支援事業所についての情報を提供している4 地域包括支援センターを紹介している5 区役所の高齢者・障害者相談コーナーを紹介している6 特に紹介や情報提供はしていない7 その他() | 1～5と回答
した方は
副問1・2へ |
|--|--------------------------|

副問1 (1～5と答えた方のみ) 介護保険サービス等を紹介する際、紹介先に診断結果等を情報提供していますか。いずれか一つに○。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 必ずしている2 必要に応じてしている | <ol style="list-style-type: none">3 していない4 その他() |
|---|--|

副問2 (1～5と答えた方のみ) 介護保険サービス等に紹介した後、定期的にその後の病状等の確認をしていますか。いずれか一つに○。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 必ずしている2 必要に応じてしている | <ol style="list-style-type: none">3 していない4 その他() |
|---|--|

問9 他の医療機関を紹介することがありますか。複数回答可。

- 1 他のものわすれ外来に紹介することがある
- 2 認知症疾患医療センターに紹介することがある
- 3 ものわすれ外来・認知症疾患医療センター以外の医療機関に紹介することがある
- 4 紹介することはない
- 5 その他()

問10 認知症の診断・治療等に関して、相談できる医療機関がありますか。いずれか一つに○。

- 1 日頃から気軽に相談している医療機関がある
- 2 相談しようと思えば相談できる医療機関がある
- 3 相談したいと思うが、相談できる医療機関がない
- 4 相談する必要性を感じたことはない
- 5 その他()

問11 軽度認知障害(MCI:mild cognitive impairment)と判断した患者に対しては、主にどのように対応していますか。複数回答可。

- 1 かかりつけ医で経過をみてもらう
- 2 自院で経過をみる
- 3 自院で治療を開始する
- 4 他のものわすれ外来や認知症疾患医療センターなどに紹介する
- 5 認知症予防教室など、予防活動を紹介している
- 6 予防活動を勧めるが、紹介まではしていない
- 7 その他()

問12 認知症疾患医療センターの機能として今後期待することはどのようなことですか。複数回答可。

- 1 電話・面談による、患者や家族の初診前相談・医療機関の紹介など
- 2 認知症の鑑別診断や初期対応
- 3 合併症、周辺症状への急性期対応、入院可能な病床情報の把握など
- 4 かかりつけ医等を対象とした研修会の開催
- 5 介護保険サービスや行政機関との連携(患者の紹介・情報提供・情報収集等)
- 6 認知症医療に関する情報発信
- 7 その他()

問 13 今後、認知症対策を進めていくうえで、北九州市はどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。下の記入欄に最も重点を置くべきと考えるものから順に、5つまで番号をあげてください。

- 1 認知症を早期に発見し、認知症予防教室などの予防活動や専門医療機関につながる取組み
- 2 専門医でなくてもある程度認知症のことがわかるようにする、あるいは、認知症専門医を養成するなど、医師の認知症対応力を上げる取組み
- 3 かかりつけ医から専門医療機関にスムーズに紹介・連携できる体制づくり
- 4 医療機関から介護サービス事業所や施設を紹介したり、行政のサービスにつながる(あるいはその逆)など、医療と介護・行政との連携強化
- 5 介護サービスにあたる専門職(ケアマネジャー・ヘルパーなど)の質の向上
- 6 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 7 認知症をテーマにした講演会の開催など、認知症への正しい理解を広める取組み
- 8 介護する家族同士の交流や、介護経験者による相談会など、家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 9 介護する家族を対象とした、認知症の人の介護やコミュニケーションのとり方などを内容とした研修会の開催
- 10 在宅で一時的に認知症の人を見守るボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 11 認知症グループホーム(認知症の人が共同生活を営む住居)の整備
- 12 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 13 虐待を防止する制度や取組みの充実
- 14 徘徊時に認知症の人を探す仕組みづくりなど、徘徊や緊急時への対応
- 15 64歳以下で発症する若年性認知症患者への支援
- 16 その他 ()

* 番号を記入してください。

↓

--	--	--	--	--

問 14 北九州市における認知症対策の現状や問題点、及び経済的な面で困難に感じていること、認知症を取り巻く環境等について、ご意見やご感想を、下の自由記載欄にご自由にご記入ください。

〔自由記載欄〕

例：周囲の認知症の理解が足りず、肩身の狭い思いをすることがある。

：既存の社会保障制度だけでは、金銭的に厳しい。 等

ご協力ありがとうございました。